

事業成果報告書

1. 個人または団体名(団体名の場合は代表者名も記入)	
石川千暁	(代表者名:)
2. 研究または活動のテーマ(課題名)	
20 世紀米国黒人文学におけるヘテロセクシュアリティ表象の諸相	
3. 助成額	
270,000	円
4. 実施期間	
2012 年 7 月 ~ 2013 年 6 月	
5. 実施状況	
<p>12年11月 第一章、第二章 脱稿</p> <p>13年 1月 第一章の改訂版 脱稿</p> <p>3月 MELUS 学会にて発表</p> <p>題: <i>Their Eyes Were Watching God</i> and Companionate Marriage</p> <p>5月 第三章脱稿</p> <hr/> <p>7月 第四章 脱稿</p> <p>8月 博士論文 口頭審査および最終提出 予定</p>	
6. 事業成果と自己評価	
<p>多少の変更はあったものの、おおまかには予定通りに博士論文の執筆を進めることができ、助成終了後の7月には予定していた四章すべてを書き上げることができた。口頭審査が8月に予定されている。</p> <p>3月14~16日の日程で出席した MELUS 学会では、<i>Their Eyes Were Watching God</i> and Companionate Marriage と題した発表を行った。黒人文学のキャンオンと目される小説『彼らの目は神を見ていた』の20世紀前半の性規範との関わり、具体的には当時の性教育読本との連関を辿るというのが発表の内容であった。今後さらに洗練させ、学会誌に投稿することを予定している。また、第一章の基礎になった論文がオンラインジャーナル <i>Gender Sexions</i> に掲載されることが1月に決定した。</p> <p>文学作品を精読するということと、作品が生み出された時代の性規範を歴史的に記述するということが矛盾しないばかりか双方にとって有益であると実感するに至った。より具体的には、黒人社会においては友愛結婚イデオロギー(the companionate marriage ideology)が人種の地位向上の政治(uplift politics)と分ちがたく作用し合っているということを明らかにできた。</p>	